



車いす競技のその後・・・。

先週、日本財団パラスポーツサポートセンターの伊吹祐輔さんと2度目の練習をしました。車いすの乗り降りの仕方を確認して、リレーを試してみました。どうするとスムーズにできるのかをお互いに伝え合い、よりよい方法を考えました。

その後、学年のみんなで様々なことを話し合いました。話し合う時には、**自分の考えも大切にしつつ、車いす競技に対して不安や心配な思いを抱えている人たちのことを考えながら、**気持ちを伝え合いました。

なぜ車いす競技をするのか？

- ・ 見ている人たちにパラスポーツの楽しさを伝えたい。
- ・ 車いすの生活を頑張っている人たちがいることを伝えたい。
- ・ 学年のみんなで協力して、チャレンジしたい。

やり方

- ・ 4～5人で1チーム。直線のコースを車いすでリレーしていく。
- ・ 車いすでの競技をする意味を考えると、勝敗（順位）は決めない。声をかけ合って、安全にゴールすることを大事にする。
- ・ 男子と女子、運動が得意な人とそうでない人、など関係なく、誰と一緒にしても協力してやりとげることが大事なので、チームはくじ引きで決める。



さらに、みんなで決めたことを校長先生に提案しました。この内容を伝えると、「**自分たちの思いを伝えられるように、にじいろ学年全員で協力して頑張ってください！**」と励ましていただきました。「やった～！」と喜んだり、許可をもらってホッとしたりする子どもたちでした。

今年度は、子どもたちの「願い」から、このような競技を運動会で実施することになりました。子どもたちの協力する姿をご覧ください！なお、例年実施しているリレーは、子どもたちの希望により、今後体育の学習でやっていく予定です。

